

ねんと
H30年度

かんそうが
読書感想画

してい
指定図書（3・4年生）



『だいぶつさまのうどんかい』

かんだ すみこ/文 中川 学/絵

今日は、ほとけさまたちの運動会。
はじめて参加するだいぶつさま。
準備体操、玉入れ、まんじゅう食い
競争…。じょうずにできるかな？



『ピンクのドラゴンを
さがしています』
あんびるやすこ/著

ナナガリフォーム店のドアを開けると、シルクとコットンが魔女新聞をのぞきこんでいた。事件発生…？！



『りすのきょうだいとふしぎなたね』

こてまり るい/作 土田 義晴/絵

ぴかぴか光る、ふしぎなたねを見つけたりすのきょうだい。一体なんのたねでしょう？そこできょうだいは、森の図書館へ…。



『天馬のゆめ』 ばん ひろこ/作

弱虫でもいい、この重たい爆弾を、海の中に落としてしまえたら…。航空隊の練習生のための練習機として生まれた「天馬」。日本が戦争をしていたころのお話。



『ちっちゃん木のおはなし』

ローレン・ロング/作

小さな森のちっちゃん木は、幸せでした。しげた葉っぱに守られて、夏も涼しかったから、秋になっても、葉っぱを手放すことができません…。



『シランカッタの町で』

さえぐさ ひろこ/作

小学校3年生のよだかすきは、クラスで「よわっち」と呼ばれている。ある日、不思議なおばあさんに見せてもらった万華鏡に導かれ、「シランカッタの町」へ行った…。

ねんと
H30年度

かんそうぶん
読書感想文

かだい
課題図書（3・4年生）



『レイナが島にやってきた！』

ながさき なつみ/作

始業式にちこくして、ガジュマルの木の上で歌っていた転校生は、ケイヤク子どもなんだって…？！



『森のおくから』
むかし、カナダであった
ほんとうのはなし
レベッカ・ボンド/作

ある暑い夏におきた、おそろしい山火事。人間も、動物も、必死に生きの延びようとしたそのとき、思いもよらないことがおこったのです…。



『最後のオオカミ』

マイケル・モパーゴ/作

遠い親戚から届いた「最後のオオカミ」と題された回想録。それは戦争の時代を、ともに孤児として生きぬいた少年とオオカミの物語だった…。



『すごいね!みんなの通学路』

ローズマリー・マカーニー/著

みんなどうやって学校に通っているの？世界のさまざまな場所にくらす子どもたちの通学の写真…。